

af a だより

上尾市体育協会創立60周年記念祝賀会

2019年3月16日、東武バンケットホール上尾において、上尾市体育協会創立60周年記念祝賀会が開催されました。

当日はスポーツ功労賞として上尾市サッカー協会の朝倉健次事務局長、優秀選手賞として聴覚障がい者サッカー日本代表の設楽武秀さんが表彰されました。



左から朝倉健次事務局長、設楽武秀選手、大室尚会長



畠山稔市体育協会会長挨拶



創立60周年記念誌寄稿文「上尾市サッカー協会のあゆみ」

この度は、上尾市体育協会創立六十周年、誠におめでとうございます。

1969年に創設された上尾市サッカー連盟は、市内のサッカー人口や2002年日韓ワールドカップ開催をきっかけに、

2002年10月に、上尾市サッカー協会として生まれ変わり、2017年10月に当協会は創立十五周年を迎えました。

この間、上尾市社会人サッカー連盟を中心とした選抜チームが埼玉県民総合体育大会上尾市代表として出場し、優勝が5回、準優勝が2回と堂々たる成績を納めています。

2018年2月に日本サッカー協会主催で簡易救命講習会が全国に先駆けて開催され、脳震盪、熱中症などの対処方法やAED使用方法などの実技が行われ、不測の事態に備える対応策を受講することができました。

また、最近では第4種(小学生年代)から第2種(高校生年代)までの若年層の活発なサッカー活動や、第1種(一般)では、リーグ戦に埼玉県聴覚障がい者サッカー部がオープン参加し、障がいのある方と同じ環境でスポーツを楽しんでいます。

さらに、純粋にサッカーを楽しむシニア層も増え、小学生から高齢者まで幅広い競技者がサッカーを楽しみ、多岐にわたる交流を深めています。

今後、当協会では協会発足当時の創立趣意の大きな目的である、子供から老人まで楽しくサッカーを行い、多くの選手、指導者、保護者などのサッカーファミリーが、更なるサッカー活動の発展を目指し、次の世代に創立趣意を受け継ぐよう努力していきます。